

2. 19. インテリジェントソフトウェアシステム学講座

2. 19. 1. 講座の概要

(a) 講座の簡単な説明, キーワード

インテリジェントソフトウェアシステム学講座では、現在人間が行うことができるが、コンピュータでは実現不可能、あるいは十分支援できない問題に対し、知識情報処理、ソフトコンピューティング、統計処理などの考えを単独または組み合わせて使うことで、問題の解決を図ることを目的に研究を行っている。人が行う思考をモデル化し、コンピュータ上に実現することで、従来の手法では解決できなかった問題をコンピュータで解決し、支援することを目指している。また人に対し、より高いレベルの支援の実現、作業負荷の軽減を図るため、人の意図理解については感情推定、それらを用いて人の考えの先読みができるコンピュータの実現をめざし、ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI) に関する研究や感情・感性情報処理に関する研究を行っている。

キーワード： 知識情報処理, ソフトコンピューティング, ヒューマンコンピュータインタラクション, 感情情報処理

(b) 年度目標

- ソフトウェアの開発過程を意識し、効率的のソフトウェアの開発ができる人材の育成
- HCI やオブジェクト指向などについて理解し、それらの観点からソフトウェアの設計・開発ができる人材の育成
- ユーザの要求、意図、感情を取り込んだソフトウェアの設計・開発ができる人材の育成

(c) 講座構成教員名

藤田ハミド, 羽倉淳, 樽松理樹

(d) 研究テーマ

- 知的相互作用システムとしての宮澤賢治認知モデルの構築
- メンタルクローニングに基づく知的インタラクションシステムの開発
- メンタルクローニング手法を用いたバーチャル・ドクター・システムの研究開発

(e) 在籍学生数

博士(前期) : 2名, 博士(後期) : 0名, 卒研生 : 5名, 研究生 : 0名